

エム・ケー株式会社



代表取締役社長
小林 勤氏

「大規模開発事業が好調です。」

「静岡・三島、神奈川県・海老名、都下あきる野、埼玉の桶川や狭山など現在8カ所の開発が進んでいる。また地権者と話し合いを進めているなど開発予備軍が4カ所ある。年間だと15カ所くら

いの案件を手がけている」

「工業団地の開発は時間がかかる事業でした。」

「工業団地はインフラ整備の割合が大きいく、これまでは自治体を中心とした。現在は自治体とキャッチボールをしながらインフラ整備を自治体が行い、我々が地権者をまとめるなど一併開発でやっている。」

「転機は当社が地域開発でトラブルを起こさずに行っていること。」

「事業を開始した当初は当社単独での信用が自治体と一緒にやる

「我々の企業規模からすると大きな挑戦だったが、企業としてステッ

「開発事業は地権者との交渉が大変です。」

「事業を開始した当初は当社単独での信用が自治体と一緒にやる

「ここで地権者からも信頼が増すし、入居企業、自治体も開発を迅速化できる」

「今までも一歩踏み込んだ形での開発となっている。こういう案件を一つのモデルとしていきたい」

「今後の開発事業の将来像は。」

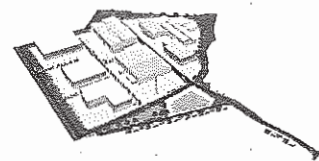
「工業団地ではなく都心の駅前再開発に挑戦したい。そういう都心部での実績が出来る」と、新しいビジョンを描きやすい」

官民一体の工業団地開発を推進 将来は都心部での再開発事業も

「我々の企業規模からすると大きな挑戦だったが、企業としてステッ

「ここで地権者からも信頼が増すし、入居企業、自治体も開発を迅速化できる」

「今後の開発事業の将来像は。」



千葉営田PJの完成CG

会社情報

▷社長=小林勤氏▷所在地=東京都日野市大坂上1-30-28 MKビル、042・589・0222▷資本金=1億円▷売上高=95億万円(17年1月期)▷従業員=39人▷設立=88年(昭和63)11月
<http://www.mk-corp.co.jp/>